**わこらぼ交換日記**

**（協働事業を一歩先へ進めるための対話型評価シート）**



**SINCE　2020**

市民と行政が一緒になって地域課題を解決する「協働事業」に欠かせないのは、互いが一つの「輪（わ）」になって、「協力（コラボ）」していくことです。

改めて協働とは・・・

～市民団体  
の強み～

**スキル**

**アイデア**

**情熱**  
**等**

**×**

～行政の強み～

**信用力**  
**広報力**  
**資源**  
 **等**

～地域課題

を解決～

**より良いまち**

和光市協働指針における協働の基本原則は・・・。

①　相互理解の原則　　②　目的・評価共有の原則　　③　役割分担明確化の原則

④　情報公開の原則　　⑤　自立の原則　　　　　　　⑥　対等の原則

６つの原則を意識しながら、事業を進めていきましょう。

目的

この交換日記（評価シート）は、継続して市民活動団体等と業務委託（協働型を問わず）を行っている事業について、事業そのものを見つめ直し、現状より一層の成果を出すことを目的とするものです。また、日記の作成を通じ、団体と行政がこれまで以上に話し合いを行い、互いの共通理解を深め、互いの強みを活かしあい、市の総合振興計画に掲げる「みんなをつなぐ　ワクワクふるさと　和光」を目指し、より良い事業としていくことを意識してください。

効果

団体は、日記の記入・交換を行うことにより、行政との対話機会が増えるため、事業に対する団体の考え方や思いなどを直接的に行政に伝えることができます。また、作成した日記の公開等（団体・市ＨＰ等）を通じ、団体自身がもつノウハウや強みのＰＲが可能となります。

行政は、継続した委託事業における市民（議会）への説明資料として、また、予算査定の際の根拠資料としての役割も期待できます。

１年間事業を行っていく中においては様々なことが起こりえますが、この日記を見返すことにより、事業の振り返りにもつながります。

日記の記入に際して

この日記の記入は、対話を通じて作り上げていくものであり、団体・行政それぞれにコスト（手間）がかかりますが、今まで以上に事業成果を上げることを意識しながら、日記を作成しましょう。また、団体と行政は、日記の作成以外にも、委託事業における管理等の会議や打ち合わせ、報告等をお互いに積極的に行い、より良い事業となるようコミュニケーションを深めていきましょう。なお、日記を記入する時期については、それぞれの項目の前段に記載してあります。

成果指標（アウトプット・アウトカム）について

この日記に記載する成果指標については、委託事業における仕様書等とは別に、協働事業としての成果が分かるような項目を設定してください。

数値は、数、割合、比率、％、発生率などが挙げられます。アウトプットは事業実施に直接関連する指標で、例としてパトロール件数など。アウトカムは成果に関する指標で、例として犯罪の減少率など。アウトカムは必要に応じて設定してください。なお、指標の数値はトライすることが大切です。

事業管理について

団体は、事業中に不測の事態が起こった場合や、悩みを抱えた際には、その都度行政と対話を行い、解決に努めてください。

行政は、当初設定した指標や事業の進捗状況について、３か月に１回以上対話の場を設け、管理を行うことが望ましいです。その際、指標の追加や修正等が必要な場合は、団体と対話のうえ、改めて設定を行ってください。

項目１～３は、事業の初期段階において団体・行政と対話のうえ記入してください。

１．事業の内容

|  |  |
| --- | --- |
| ①　委託事業名 | 心を込めた花で明るい街づくり |
| ②　事業主体 | （団体）和光おもてなし隊  （行政）秘書広報課 |
| ③　委託金額 | 500,000円（税込み）　　＊　令和２年度 |
| ④　委託内容 | 【地域課題の解決】  ・　オリンピック・パラリンピックへの気運醸成・啓発活動  ・　花の育成を通したまちづくり・活性化  【事業内容】  ・　各学校にてプランターに花苗の植え付け作業、巡回確認  ・　和光市駅南口周辺に花を移動、世話  ＊　いずれも児童、生徒、市民がオリンピック・パラリンピックへの関心度を高める方法で |

２．協働事業における成果指標

|  |
| --- |
| 協働事業の成果指標（課題解決に向けての具体的な数値を定める）  アウトプット  　＊　市内１８の各学校等において、プランターで苗から花を育成する。  　＊　モデル校5校において、オリパラ啓発活動を行う。 |
| アウトカム  　子どもたちのオリパラへの意識を25％向上させる  　＊　事前・事後各１回のアンケートを実施。  　＊　数値については１回目のアンケート結果を受けて決定する。 |

３．協働事業としての役割分担の確認

|  |
| --- |
| 役割分担の再確認（役割分担書は作成していますか？）　有　：　無  （団体）  （行政）  　＊　別紙　役割分担書参照 |

項目４、５について、事業の初期段階においてメッセージを交換してください。

４．項目１から３までの対話を踏まえて行政から団体へのメッセージ

　　★　契約時を思い出して書いてください。

|  |
| --- |
| 行政から団体へのメッセージ  これから多岐にわたる関係機関等と多くの調整が必要となります。一つの「輪（わ）」になって、この事業が成功できるよう、頑張りましょう。 |

５．行政からのメッセージを受けて、団体としての意気込み・抱負を記入しましょう。

★　契約時を思い出して書いてください。

|  |
| --- |
| 団体の意気込み・抱負  　嘗て１９６４年第１８回オリンピックの時は和光市の前身 大和町でした。心を込めて沿道に植えた花は口はきけなくても遠来の客を迎える美しい心を表すことはできましょう。と、大和町の人たちは一致団結し心を込めて花の育成に励んだのです。先人大和町の人たちの精神・意気込を私たちは受け継いで明るい街づくりを目指しましょう。折しも大和町から和光市に変遷されて今年は市制５０年になります。子どもから高齢の方まで多くの市民が関わって「街づくり」に励む様子を想像するだけで気持ちが明るくなります。 |

項目６、７について、概ね第１四半期終了後においてメッセージを交換してください。

６．事業期間の１／４を終えて団体から行政へのメッセージ

|  |
| --- |
| 団体から行政へ  事業が開始された４月はコロナ問題の真っ只中です。三密、不要不急の外出自粛、学校は休校・・・活発に行動活動が全く不可能な状況下です。  　その中で三者協議会の開催、教育委員会との打ち合わせ、おもてなし隊通信の発  行、学校訪問等は実施してきました。  花プランター設置の時期を１２月に延期しました。コロナ感染、天候不順に伴う想定外の水害、連日の猛暑で気持ちが晴れない市民の皆さんに、せめて少しでも心が和むように と、花プランターを２０セット駅前道路に設置しました。給水作業、ジョーロ等の保管に関し道路安全課、都市整備課と打ち合わせをしました。 |

７．項目６を受けての行政から団体へのメッセージ

|  |
| --- |
| 行政から団体へ  新型コロナウイルス感染症の影響により、東京２０２０大会は１年延期となってしまいました。心を込めた花で明るい街づくり事業も新型コロナウイルス感染拡大を受け、当初計画通りに進めることができず、計画変更をせざるを得ない状況でした。  それでも前を向き、できることを着実に行ってきた３か月であったと思っております。これから下半期にかけて児童の花の育成が始まりますので、新型コロナウイルスと共存しながら、より良い事業となるように協働していきましょう。 |

項目８について、概ね上半期終了後において団体・行政とで中間評価を行ってください。

８．協働事業としての評価（中間評価）

※成果指標の結果（数値の確認）

|  |
| --- |
| アウトプット  新型コロナウイルス感染症の影響により、１０月末に各学校等に配送予定。 |
| アウトカム  苗の配送後にアンケート調査を実施するため、現状での進捗はない。 |

項目９は、項目８の評価と併せて、団体・行政と対話のうえ記入してください。

９．その他の評価

|  |
| --- |
| 事業を通じた広がり（様々な人たちや他団体への参加と協力が得られているか）  ・F'ｓboxビルと交渉し、水道使用の許可を得た。  ・駅周辺の美化活動を㈱リゾンと行った。 |
| 下半期に向けての改善点  ・台風対策を検討する。 |
| 団体の自由度・スキル・アイデア・情熱などにより実現したこと  ・「事業を通じた広がり」と同内容。  ・DVDを作成し、各学校等に配布する予定。  ・10/17にみんなの大学校向けにオリパラ啓発活動を行う予定。  ・埼玉県や他の県内自治体から、本事業に対する取材や問い合わせをもらった。 |
| 協働して良かったと思う点（想定以上の効果など）  ・１団体では市での内部調整が難しい側面があるが、協働で行うことにより、より効果の高い取組を行うことができた。 |
| 想定外に起こった出来事とどのように対処したか  ・新型コロナウイルス感染症の影響による計画変更、花苗変更、台風対策等を連携を密にして対応した。 |

項目１０、１１について、概ね第３四半期終了後においてメッセージを交換してください。

10．事業期間の３／４を終えて団体から行政へのメッセージ

|  |
| --- |
| 団体から行政へ  １０月下旬にプランター、花苗等を各学校へ配送、その後子ども、生徒達で花育成が展開された。花育成、オリパラ啓発用のDVDも届けて参考にしてもらった。放課後教室、小学校の授業でオリパラの話と併せて五輪折鶴や五輪輪投げを行った。１２月下旬に駅前にプランターを設置して多くの市民に楽しんでもらった。教育委員会、各学校、プランター配送の際の秘書広報課の協力があってこその本事業だと改めて感謝、感謝！！です。後３ヶ月間引き続き頑張ってオリパラへのステップにしましょう。 |

11．項目１０を受けての行政から団体へのメッセージ

|  |
| --- |
| 行政から団体へ  対面での活動が制限される中、DVDを作成するなど、工夫して取り組むことができました。花の育成も各校で始まり、１２月下旬には花プランターを駅前に設置し、多くの方に事業をPRできたと思います。残り３ヶ月も引き続き、よろしくお願いいたします。 |

項目１２について、事業終了後において団体・行政とで事後評価を行ってください。

12．協働事業としての評価（事後評価）

※成果指標の結果（数値の確認）

|  |
| --- |
| アウトプット  アンケート集約結果によると花プランターを駅前に展示することに対して「花いっぱい」の項目は１回目33,6％に対して2回目では41.7％に上昇した。（別紙資料参照） |
| アウトカム  オリパラ関心度で射撃競技が和光市で開催される認知度は40.5％から76.5％に上昇した。（別紙資料参照） |

項目１３は、項目１２の評価と併せて、団体・行政と対話のうえ記入してください。

13．その他の評価

|  |
| --- |
| 事業を通じた広がり（様々な人たちや他団体への参加と協力が得られているか）  駅前広場でのプランター設置後の水やり、美化作業にシャローム和光、（株）リゾンが一緒に参加して活動を行った。任意団体の花じゅりんとも時には合同で作業を行っている。学校からの要請でオリパラの啓発事業に参加、又、生涯学習課と連動して放課後子ども教室にも参加した。埼玉県は本事業に関心を示し現場取材をしたい旨の連絡があり１０月中旬には動画取材が実施され県下の小中学校へ配信された。２月２７日（土）のプランターを各学校へ返還移動するための準備作業の際、オリパラ機運醸成担当と都市ボランティア担当の二人の職員が応援に駆け付けてくださった。 |
| 次年度に向けての改善点  令和３年３月末で本事業は終了する。一方で和光おもてなし隊としては４月以降も秘書広報課、教育委員会と協議し協力を得ながら「心を込めた花で明るい街づくり」活動を継続する予定。駅前広場での設置後の水やり、美化作業での市民参加を呼びかけたい。 |
| 団体の自由度・スキル・アイデア・情熱などにより実現したこと  オリパラ啓発ゲーム：エンブレムマーク作り、五輪マーク作り、五輪輪投げ、五輪折鶴を小学校、地域の集会等で実施した。その結果、多くの子ども達、市民（特に高齢者）との交流、ふれあいができた。緊急事態宣言で学校等への訪問も制限される状況下で花苗植え付けの手順、オリパラ啓発用のＤＶＤを制作し各学校に配布した。 |
| 協働して良かったと思う点（想定以上の効果など）  教育委員会、各学校の真の理解、協力があってこその本事業達成だったと感謝している。プランター運搬作業での秘書広報課の実戦協力は終日に渉ることもあった。 |
| 想定外に起こった出来事とどのように対処したか  コロナ禍でスタート時点から実施工程が大きく支障を来たした。スケジュールを１００％変更せざるを得ない状況になった。三者+教育委員会と再三協議し実施計画の立て直しをした。校長会にも出席し各校長にもお伝えをした。県立高校２校と県立特別支援学校２校には毎月訪問して状況等を伝えた。結果的にコロナ禍で実施スケジュールは変更せざるを得なかったが各学校との連携強化が図られたように思う。 |

最後に、項目１４、１５を団体・行政がそれぞれ記入して日記は完成です！！

14．事業が終わってからの団体から行政へのメッセージ

|  |
| --- |
| 団体から行政へ  和光市になる直前の大和町の人たちは心を込めた花で遠来の客をお迎えしよう！！と、花育成に励んで第１８回オリンピックを成功させました。その精神を受け継いで今回の協働事業に参加した経緯もあります。コロナ禍でオリパラは一年間延期されましたが心を込めて育成した花は直接参加した子ども、生徒達にとって掛買いのない思い出になることでしょう、一方で駅周辺を行き来する市民の皆さんには美しく咲き誇ったパンジー、ビオラは気持ち、心を和らげたことでしょう。私たちは「心を込めた花で明るい街づくり」活動を継続して微力ながら和光市の活性化に繋げる所存です。引き続きよろしくお願い致します。 |

15．項目１４を受けての行政から団体へのメッセージ

|  |
| --- |
| 行政から団体へ  １年間お疲れ様でした。新型コロナウイルス感染症の影響により、大幅に計画を変更せざるを得ない中、できることを協働して最大限できたと思います。特に触れ合うことができない中、花の育成についてDVDにて伝えることができたのはとても素晴らしかったと思います。協働事業提案としては終了となりますが、今後もできる範囲でサポートしていきます。 |

これにて「わこらぼ交換日記」は終了となります。この日記を団体や市のＨＰで公開することにより、事業や団体のＰＲにもつながりますので、積極的に公開していきましょう！！

【わこらぼ交換日記についての問合せ】

和光市 市民活動推進課 協働推進担当

電話 　 424-9120

Fax　 464-2090

Email 　kyodo@city.wako.lg.jp